



歴史的な大惨事の資料を見せていただき、国の利益が無辜な人々の命を奪い、悲劇をもたらしたことに大きな悲しみを覚えます。このような非人道的な国の政策が行われないう世界にする必要があると共に、再びこのような悲劇が起こることのないように心から願います。

日本における歴史的な悲劇について、国際社会が一致協力して、平和を希求することを願うものです。

(2015年12月18日)

#### ニキル・セス／国連事務次長補兼ユニタール本部長

今回の訪問は心を打たれる、記憶に残るものでした。

館内では、1945年8月の悲劇が描き出されていきましたが、館を出た瞬間に、あたり一面が快活な回復力と希望に満ちていました。

広島は、平和・希望・回復力の都市です。これからもこの都市が体験した愚かな行為が二度と起きないように、世界に訴え続けていかれることを願います。

(2016年2月3日)



#### Hiroshima Peace Culture Foundation Newsletter, March 24, 2016

Mr. Nikhil Seth, UN Assistant Secretary-General, Executive Director of UNITAR

This visit became memorable one for me. Exhibitions clearly illustrated the tragedy of August 6<sup>th</sup> in 1945, but when I got out of the museum, there are full of hope and energy. Hiroshima is the city of “peace”, “hope”, and “resilience.” I wish Hiroshima keep spreading the message of peace so as not to happen the same tragedy that Hiroshima experienced. February 3<sup>rd</sup>, 2016